



大阪教区伝研の会

第23回公開講座

一から読む『浄土論註』

日時

2025年2月14日(金)

時間

午後5時～7時

場所

難波別院同朋会館2階 研修室

参加費

1,000円(どなたでも聴講可・途中からでも聴講可)

テキスト

「解説浄土論註(改訂版)」 養輪秀邦編 東本願寺出版
※お手数ですが、各自でご準備下さい。
東本願寺出版部へお問い合わせ下さい。【TEL 075-371-9189】

「浄土論註」を一から読みませんか？

はからずも「親鸞」と名のられた越後時代の宗祖。そこにおかれて、生活の現場を目の当たりにされた親鸞聖人は、天親菩薩から曇鸞大師へと受け継がれた浄土論、浄土論註の学びを深められました。

曇鸞は論註の冒頭に龍樹の開頭された難行・易行の道をあげて、易行道こそが私たちの存在そのものの難が明らかになったところにひらかれてくる道としていただきました。

大阪教区伝研の会では、親鸞聖人が大切にいたがかれた『浄土論註』を改めて一から読み進めていく公開講座を開催しております。

もとあき よしき

講師 本明 義樹氏(大谷大学文学部 講師)



伝研の会の公式LINEができました。

主に公開講座の情報を配信していきますので、是非ご登録をお願いします。

(開催情報等の配信は、LINE及び大阪教区HP「銀杏通信」にも今まで通り掲載しております。)

尚、こちらのLINEは伝研の会からの送信専用となりますので、伝研の会へのお問合せは、下記事務局または伝研の会会員に直接お問合せください。